

はじめに



21世紀の扉が開かれ10年が経過しました。この間、急速な少子高齢化の進行や経済の低迷など、厳しい社会経済情勢の変化に直面してまいりました。

こうした社会状況やこれまでのまちづくりの実績、課題を踏まえ、全ての市民がまちに愛着や誇りを持ち、将来の夢を描き、そして心豊かに暮らせるまちづくりを進めるため「第5次総合計画」を策定いたしました。

この総合計画は、10年先のまちの姿を「ひととまちがキラリとかがやく市民文化交流都市～人と人との絆と和 地域が主役のまちづくり～」とし、多くの市民の皆様への参加とご協力をいただきながらまとめた新しいまちづくりの指針です。

現在、本市では市民同士の交流などを通して、様々な分野や場面で活躍される方が多く、このような市民の活発な活動はまちづくりの大きな財産です。

こうした活動が、人と人との信頼の「絆」でつなげ、地域の一体感「和」を再生し、まちづくりの活力の源である「地域力」を向上させていくものと考えております。

新しい総合計画の着実な推進に向け、こうした「地域力」を活かし、地域と行政が連携を深めながら「ともに考え、ともに行動する」まちづくりを進めてまいりたいと考えております。

本計画の策定にあたり、熱心なご協力をいただきました基本構想審議会、市民会議の委員の方々をはじめ、地域別説明会、懇談会などを通して貴重なご意見やご提案をいただきました多くの市民の皆様に心からお礼申し上げます。



平成23年4月

富士見市長 星野信吾